学校番号	３０１３

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	「改訂版　最新　社会と情報」（実教出版）						
副教材等	「五訂版　これだけ！著作権と情報倫理」（数研出版）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コンピュータとインターネットを活用して、作品制作やプレゼンテーションを行うことにより、情報を収集、処理、表現方法、情報の扱い方や効果的な表現について学びましょう。
・情報手段の活用だけでなく、情報社会の特性や影響・課題を理解し、ルールやマナーに関する基礎的な知識を身につけましょう。

２ 学習の到達目標

・日常のさまざまな問題を解決するために、コンピュータを活用して情報の収集や整理を行うことができる。
・情報をわかりやすく表現し、効果的に伝えるための技法を適切に利用・活用することができる。
・情報化が社会に及ぼす影響、情報を受信・発信するときの責任を理解した上で、ネットワークを利用したコミュニケーションを含め、情報社会に積極的に参加する。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技術を身に付け、目的に応じてアプリケーションやその機能を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 課題作品 発表 など	学習状況の観察 課題作品 発表 など	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果 など	学習状況の観察 課題作品 発表 など

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	コンピュータ活用の基礎	○コンピュータの基本操作 ○ワープロソフトの活用(資料作成)	○ ○	 ○	○ ○	 ○	a:コンピュータやその操作に興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:目的に応じて、適切な表現方法を選択・判断し活用できる。 c:ワープロソフトを使って情報を編集し、発信することができる。 d:書籍やインターネット上の資料の情報を参考にする際の情報の性質や注意点を理解している。	授業観察(a) 実技テスト(c) 課題作品(b,c,d)
	表計算ソフトの活用	○表計算ソフトの操作法 ○データの入力、関数・グラフの活用とその特徴の理解	○ ○	○ ○	 ○	 ○	a:表計算ソフトのデータ入力やグラフ作成、関数の利用に意欲的に取り組んでいるか。 b:関数の意味、役割、引数を理解しているか。また、グラフの特徴を理解したうえで利用、目的に応じた表現ができているか。 c:目的に応じて関数やグラフなどの機能の選択ができ、活用できているか。 d:情報の処理の仕方により、伝わり方が変わることを理解しているか。身のまわりのデータや資料を参考にする際の注意点を理解しているか。	授業観察(a) 課題提出(b,c,d)
	プレゼンテーションの基礎	○プレゼンテーションの基礎、スライドソフトの活用 ○紹介プレゼンテーションの作成 ○情報社会に関する事柄に関するプレゼンテーションの作成	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	a:プレゼンテーションの実施の流れについて理解している。 b:目的や対象を明確にして、表現やデザインの工夫があるか。プレゼンテーションのテーマ・目的が明確で、構成がしっかりしているか。 c:スライドソフトの各機能を理解し、目的に応じて選択・利用できているか。 d:情報を伝達する際の注意事項について理解し、プレゼンテーション制作の流れや段階ごとのポイントを理解しているか。	授業観察(a,d) 課題作品(b,c) 発表(b,c,d)

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。